新築された寮のために

魂の聖なる石狩のたませいいしかり か がやく路のさすらひや

揺籃に歌ふ若人はゆりかご うた やこうど

色華かなるあけぼ

の の

愛の学えは香盤に いのちの野火のおき伏のいのちの野火のおき状の 夏の林に流れわたるなっ はやし なが

感激深く胸をゆるようこびふか むね

沈黙に曳ける追懐と 空色の国星の国 神秘を語る冬の夜に

0)

Ĵ

永遠になみうつ白銀 几

> 服 部 光平 君 作 歌

Щ

本吉之助君

作

Ш